

# 【会議録】第15回 筑紫野市コミュニティ連絡会議

《日時》 平成28年11月24日(木) 9時30分～11時30分

《場所》 二日市東コミュニティセンター 2階 会議室

《参加者》 各コミュニティ運営協議会(会長)7人、市職員(総務部)4人

## 1 コミュニティと公民館との関係について

市の考え方についての素案を提示し、各会長による意見交換を実施した。

市の考え方の素案について
<ul style="list-style-type: none"><li>・これまでの連絡会議において、「コミュニティと公民館との関係について議論すべき」また、「議論の叩き台として、市側が素案を示すべき」との意見が出されたことを踏まえ、市としての考え方の素案を作成した。</li><li>・素案では、各コミュニティにおいて、82の行政区を基礎団体と位置づけてきたことを踏まえ、新たに87の公民館組織についても同じくコミュニティの基礎団体として位置づけるとともに、公民館部会を設置するものとし、コミュニティにおいて各公民館活動の活性化を図るものとしている。</li><li>・これから関係団体に対し、市の考え方などについて説明していくためにも、各コミュニティの会長のご意見を頂戴しておきたい。</li></ul>

各会長の意見の概要
①公民館とコミュニティは、共にまちづくりを目的として掲げるものであり、早急に両者の一体化を検討すべきである。
②コミュニティと公民館の将来像は、現時点で決められるものではない。各地区小公連、コミュニティ単位での議論を深めたうえで、考えるべき課題である。
③11月2日連絡会議での議論を踏まえ、役員会で一定の議論を行ったところ、「7つのコミュニティ間での横の連携はどうなるのか」、「館長・主事の研修をコミュニティでできるのか」、などの意見が出ている。
④コミュニティごとに規模が異なる事情もあるだろうが、自分のところでは、いずれの事業も地域総出で行っている。既に、地域としての一体化が果たされている。
⑤文化祭を通じて、コミュニティと地区小公連との連携に取り組みはじめたばかりである。今すぐに結論を出すのは難しい。仮に一体化するのであれば、事務局体制の見直しも必要である。
⑥将来的にコミュニティの場で解決するという考えを持つべきと思う。事務局体制の見直しを含め、コミュニティ運営協議会とコミュニティセンターとの関係についても考えていくべきである。
⑦この件については、各コミュニティにおいて一定の話をしつつ、関係団体とも議論を重ねていくべきである。連絡会議での議論としては、月1回の定例会だけでなく、臨時会の開催も必要となる。

## 2. 平成 29 年度連絡会議の予算について

事務局より、議長・副議長の意見を踏まえた素案を提示。

平成 29 年度からは、合同役員研修会、会議資料印刷代、その他通信費などとして、総額 7 万円の予算を持つよう方針を決定。

各協議会において、来年度からは一律 1 万円の負担金を連絡会議に納めるよう、検討を行うものとした。

## 3. 消防団について

今後の消防団の体制について、市への質問あり。

消防団について、可及的速やかに市と消防団との協議を行い、7 分団への再編を検討していく方針であることを確認した。

## 4. 次回の会議について

12 月 7 日（水）9 時 30 分より、連絡会議の定例会を開催するものとした。

また、二日市、山家、筑紫の 3 協議会については、事務局長の同席を求めるものとした。